



# Total Quality Education

Copyright © JSQC 2004

(一社) 日本品質管理学会 TQE 特別委員会 2016年10月3日 (月)

第136号

## 第6回《科学技術教育フォーラム》来年3月25日(土)開催 第62回委員会では第6回フォーラムの骨格・内容を議論…面白そう!



渡辺先生により紹介された米国カリフォルニア大学の数学・統計教育の演習事例には出席者全員が画面に釘付けとなり、日米の教育の違いに議論が発展しました



急遽委員長の代役を務めた横川委員の司会で第62回委員会は賑やかに進みました



今回から新たに3名の委員が加わり切り口新鮮、新たなアイデアが噴出しました

平成28年10月3日(月)午後6時から8時過ぎまで日本科学技術連盟高円寺ビル会議室に11名が参加、第62回TQE特別委員会を開催しました。

最初に今回から参加するフジクラの平間委員、日本規格協会の石倉委員、電気通信大学の横川委員がそろったところで全員自己紹介を行いました。

鈴木委員長から急遽バトンを引き継いだ横川委員のリードで、小学校、中学校、高等学校における「問題解決力」強化に役立てるべく第6回《科学技術教育フォーラム》について議論を本格化しました。

来年3月25日(土)に電気通信大学での開催が決まった第6回《科学技術教育フォーラム》では、委員会が目指す小中学校、高校における「問題解決力」の強化に役立てる教材の提供を目指し、より実践的な内容にするため、具体的な教材事例、特に企業内で実践されている研修教材の中で役立ちそうなものを選び紹介すべく具体的な議論をしました。

今回新たに加わった3名の委員からこれまでに無い切り口の事例が紹介されるなど、次回フォーラムでは一味違った展開が期待できそうです。

## ……第62回TQE特別委員会の模様……



今回、急遽バトンを渡されたのが電気通信大学准教授の横川先生、椿委員、山下委員の支援で早速、長年、委員会に参加しているような雰囲気、第62回委員会の開会の挨拶を行いました。

今回の最大の課題は来年3月25日(土)に電気通信大学で開催の方向で準備に取り掛かった第6回《科学技術教育フォーラム》のテーマ、プログラムなどの具体化です。

今年3月開催の第5回フォーラムに関するこれまでの議論を踏まえ、次回開催に向け議論を展開しました。

これまで以上に、小学校、中学校、高校での教育現場で役立つ具体的な内容を紹介することを目指し、これまで委員会では新学習指導要領の改訂に対応した内容を紹介すること、団塊の世代の人材活用、西村委員には海外の教育現場の現状などを切り口にプログラムを具体化すべく取組んできました。

第5回フォーラムのポスターをたたき台に「科学技術立国を支える問題解決教育」は従来通り変わらず、テーマ「産官学共創のアクティブラーニング」を「社会との共創による新教育課程の実現(仮)」を試案として具体化を検討しました。

日本品質管理学会、統計数理研究所、日本統計学会、応用統計学会、日本信頼性学会が主催、協賛は日本科学技術連盟、日本規格協会、統計関連学会に加え、横幹連合にも協賛を打診する、文部科学省と総務省の後援を要請する計画です。

また具体的なプログラムではこれまでもたびたび講演をお願いしている文部科学省の長尾先生にもご登壇をお願いできないか、問題解決のためのアクティブラーニング教材の実践事例を何にするか、検討中のQCサークル誌の事例、企業内研修教材の紹介をどうするかなどを議論しました。



石倉委員紹介の某社の品質管理教育教材

第62回委員会では新たに加わった石倉委員から新潟県の某企業がQC検定受験のために実施している品質管理基礎講座の内容が紹介され、現実に実践されている内容でもあり、これを小学校、中学校、高校の現場で使える内容にできないか、企業側にも協力要請ができないかなど議論を展開しました。



渡辺先生紹介の米国の数学・統計教育事例

また渡辺委員からは最近注目されている米国カリフォルニア大学バークレー校の付属校で実践されている数学・統計教育の事例が紹介されました。

日本国内の企業内研修の事例として委員会で検討しているQCサークル誌の掲載記事にあるような事例を、子供たちに解り易く平易にという視点で噛み砕き、ゲーム性を高めた演習事例でもあり、企業研修内容を小中学校や高校で実施するには社会志向の翻案が不可欠であり、参考になるなど議論されました。

その他、11月19日に慶應義塾大学日吉キャンパスで開催される第7回横幹連合コンファレンスでの発表内容についての紹介、11月16日(水)に代々木のオリンピック記念青少年総合センターで開催される第66回全国統計大会での日本品質管理学会賞についての紹介がありました。

次回第63回委員会は11月21日(月)に開催の予定です。